

『ナラティブ・アプローチと 看護研究の接点』

「臨床の場は、ひとの人生がとても鮮烈なかたちで姿をあらわす場である。また、ひととひととの出会いが決定的な意味をもつ場である。（中略）
そのような場にどのように接近したらよいのだろうか、その場をどう理解すればよいのだろうか・・・」
（講師著書「物語としてのケア」“あとがき”より）
今回は、語りを手がかりに対象との関係性を基盤とした実践的看護研究との接点について考えていきます。

講師：野口裕二先生（東京学芸大学教授）

平成22年3月13日（土） 13:30～16:00

参加費：会員・学部学生無料、非会員1000円

千葉大学看護学部第一講義室

千葉市中央亥鼻1-8-1

看護・医薬系総合教育研究棟（南棟）2階

〔申し込み方法〕

平成21年3月10日（水）までに、はがき・FAX・E-mailのいずれかで下記までご連絡ください。その際、以下のことをお知らせください。

返信先住所・氏名・会員（会員No）/非会員
参加人数・代表者連絡先（Tel・Fax・E-mail）

申込先：小川純子

〒260-8703 千葉市中央区仁戸名町673 淑徳大学看護学部内

FAX：043-305-1816

E-mail: junogawa@soc.shukutoku.ac.jp